

# やまぐち 9月15日



## 佐山小が健康優良校県代表に

### 健康優良学校審査

昭和五十一年度「全日本健康優良学校審査」で佐山小学校が、小規模校部門で晴れの県代表に選ばれ、今後全国審査を受けることになりました。同審査は保健・体育活動、地域との協力、健康診断、環境衛生管理などの項目で審査されるもので、同校生徒の体

力がすぐれていることと学校施設整備とあいまって地域全体が健康向上に取組んだ成果が評価されたものです。また同校は、全国学校音楽コンクール県大会で優秀校に選ばれ、二学期登校した児童は二つのいい知らせがまっています。

## 幼児教育に不安のあるかた 家庭教育巡回相談へ

- 日時 10月6日 10時～15時
- 場所 山口市民館 小ホール



家庭教育（幼児期）巡回相談を行いますので、幼児期のお子さんをおもちのかたはお気軽にご相談ください。

- ・内容 幼児の身体や精神、しつけ育児について、グループ相談や全体学習、個別相談（希望者）などで教育・保育・心理などの専門家が相談に応じます。
- ・申込み 希望者は九月二十九日（水）までに市教育委員会社会教育課（☎四一八一）八十人でしめ切り、県・市教育委員会主催



# 野菜団地を目指して

## 島二 幸二 拓千 幸崎



### 四十八戸が増反 キャベツなど作付け

幸崎千拓(約六十歳)は、昭和二十二年、食糧増産対策の一環として事業着手、昭和三十八年約千六百坪の潮どめ工事が完了しました。

四十年に果樹栽培を主として配分募集をしたが、応募者が少なく計画は立消えとなりました。四十四年からみかん産地と常習かんばつ解消のため、総合農地開発事業がはじまり、裾野川からの導水で干拓地内に約一畝の貯水池もでき用水問題が解決

昭和四十八年、露地野菜、施設園芸団地を目ざし四十一畝の畑地造成で土地配分を公募、生産意欲に燃える地元農家四十八戸に配分、水路、農道の整備のすんだところから作付けがされることとなりました。

広大な幸崎千拓、野菜団地として生れかわるうとして

## 児童扶養手当の改正

### 支給範囲の拡大 手当の増額

五十二年十月から

■十八歳まで支給  
これまで、義務教育終了前(廃疾の状態にある児童は二十歳未満)

の児童を養育している方に支給されていましたが、五十二年十月から三十五年四月二日以降に、今春中学を卒業した児童を養育している方には、満十八歳になる月まで支給対象となり

#### 手当の額の増額

したがって今春中学を卒業し手当がなくなった方または卒業により、一人減となった方は、早目に認定申請手続きを保険年金課、または出張所でしてください。

なお、昨年以前に中学を卒業し、手当のなくなった方は、対象となりません。

■手当の額の増額

まだ一部では工事が進行中です

十月から手当の額が次のとおり改正されます。

▽児童一人の場合現行一万五千六百円→一万七千六百円

▽児童二人の場合現行一万六千四百円→一万九千六百円

以下一人増すごとに四百円加算されます。

◇ ◇ ◇

児童扶養手当のこの間合わせは、市役所保険年金課または最寄りの出張所でどうぞ。



々と準備がすすんでいます。今年、キャベツ、玉ねぎ、ブロッコリーなど約三十畝作付けされ、十二月末に圃場整備が終る十一畝が加わると年間延二百二十畝の作付けができる一大野菜団地となります。

しかし、千拓地、昨年も試験圃場で塩害、微量要素欠乏などがでた。この野菜栽培上の技術的な克服もさることながら、平均年齢は四十歳台とはいえ、全部が増反、個々にも相当規模の経営があります。このかねあいで、手間のかかる野菜をどう組織化していくかが今後の課題となっています。

## 秋の交通安全健民運動

—9月21日～30日—

シンボルマーク



秋の交通安全健民運動が九月二十一日から三十日まで実施されます。

#### ●運動の重点は

「ゆっくり走ろう運動」と、歩行者、自転車の事故防止、シートベルト着用運動の推進です。とくに子ども(幼児・児童)とお年よりの交通事故防止に力を入れます。

#### ●ゆっくり走ろうとは

道路のうえで子どもを認めたときでも突然車道にとびだしてくるとか、駐車している車のかけとか物かけから何ごとび出してくるかわかりません。

「ゆっくり走ろう」とは、いっぺん、重傷三五人(四五八人)つ起るかもしれない危険に対応できる心と行動の準備をして運動をすることで、決してのるの運動をしようとするものではあります。

## ゆっくり走ろう防長路

交通安全運動スローガ

#### ●生活ゾーンの点検

住宅地域や学校などの施設の地域について歩行者や自転車利用者が安全に通行できるように、スクーター、スクーター、スクーターなどの内容充実、交通規制、道路とくに歩道で自転車の不法占用防止などの道路、パトロール、標識やミラーなどの交通安全施設の点検整備に力を入れます。

#### ●事故防止の誓いを新たに

市内の八月末現在の事故の状況は、次のとおりです。カット内は昨年同期。件数三四九(三八八)。死者三人(一人)。重傷三五人(四五八人)。軽傷三九五(四五八人)。確かに交通事故は減少してはいますが、「運動」を機会にもう一度事故防止の誓いを新たにし事故絶滅に努めましょう。

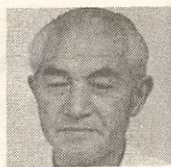


そうですか、もう七百号になりますか。感慨深いですヨ。私が市会書記の職で市公報を編集したのは昭和十四年、今の市報とちがい官報的なものでしたが、市会関係事務処理と公報編集と「意気と努力」でおした日々でした。

発刊の序文は、当時市議の村田公亮さんに筆を入れてもらった記憶があり、警察の検閲が必要な時代でした。

私も毎月市報は目を通していきます。わかりやすく、読みやすくといい点で大変結構と思います。これからの市報はただ知らせるだけではないけません。できただけの内容だけでなくその背景を解説すべきです。

内容の背景の解説を



楠木町 宮崎 荘作 さん

市報復刊以来七百号  
市報の「前身」山口市公報は、昭和十四年四月市制十周年に際し発刊、昭和二十年まで七十八号が発行されました。

戦後二十二年復刊し、二十五年五月からこれまでの回覧から全世帯に配布するようになり、月二回から三回発行、九月十五日号で復刊七百号を迎えました。

現在三万三千部印刷、月二回全世帯に配布しています。市報についての思い出話やこれからの課題についてうかがいました。

市民と市政との太いパイプ役に

市民の声をきく



鑄銭司今宿 松崎 千里 さん

市民参加の市報を

ちよっとのあつまりでも、よく市報の記事が話題になりま

転勤がよくあるので各地の市報を読んでいます。山口の市報はとも読みます。感じていますよ。

表紙から写真がふんだんに組み入れてあるので見るのが楽しみです。この前も錦鶏の滝の写真を見て今度家族で行ってみようと思っているところです。

わたくしは市報を一年分保存しているんですよ。子どもの児文センター行事や大きな行事などは毎年同じ頃の時期に開かれるようです。今月はこんな行事があるだろうと計画を立てながらのフル活用、いろいろな行事に参加するのが楽しみです。

お知らせコーナーを活用



本町1丁目 池田 すみ子 さん

す。前の号の「うば捨て山」の記事なども、みな関心をもって読んでいます。わずかな記事でも皆に関心があることだと話しあい、考える材料になります。

あのように、市民のインタビュが毎回よくできていますが、市民参加の市報という意味で、今後もつづけてやってもらいたいと思います。

この頃、十五日号は四ページのようですが、せめていつも八ページの紙面であってほしいと思います。

市民体育大会

宮野が総合優勝



なかなか思うように走ってられません……タイヤころがしリレー



音楽広場での「ちびっ子のど自慢大会」70名がのどを競う。

ぬけるような青空の下で

いこいの広場

家族づれで大にぎわい



ひろどきとなれば、広場のあちこちで家族でおべんとう



総合優勝の宮野へ市長杯が



白石チームの清水さんは六六歳、元気なところを見せた。



スクイズやホームラン攻勢で鴻南チームは押し気味に試合を進め六対四で宮野を破り昨年に続き二連勝した。

- 市民体育大会の成績
- ▽総合成績 優勝宮野 ②大殿
  - ③鴻南 ④陸上 ①大殿 ②ソフボール ①鴻南 ②バレーボール ①宮野 ②卓球 ①大殿 ②サッカー スポーツ少年団 男子 ①付属 女子 ①二島

- 五十一年度市体育功労者表彰
- 荒瀬一生(ハンドボール)、安部省二(同)、梅本高(陸上競技)、山崎勉(同)、吉本満(湯田体育振興会)、松永正己(同)、山田重信(バドミントン)、西田孝雄(庭球)、田中俊輔(大内プロック体育協会)、篠原健治(大殿体育委員会)、松田瑞穂(野球)、緑信彦(同)



